

すぎのこだより

作：ひのきの杜共生

第79号



◆CONTENTS◆

- 『特集』～新ひのきの杜～……………②
- 『理事長コラム』……………③
- 『特集』～各事業所の活動や
行事の様子～……………④⑤⑥
- 『祝』諸岡施設長・職員リレー
療法士の活動・みんなの部屋』…⑦
- 『守る会・ボランティア・寄付
なんでも掲示板……………⑧



【社会福祉法人 すぎのこ会】

<http://suginokokai.or.jp>

Instagramはこちら 
ホームページと併せて、是非ご覧ください。





新ひのきの杜 ~Near completion~



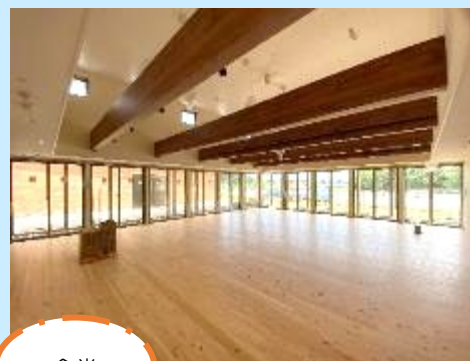
訓練・作業室



リハビリ兼
スヌーズレン室



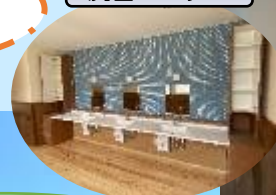
地域交流スペース
“miraie”



食堂



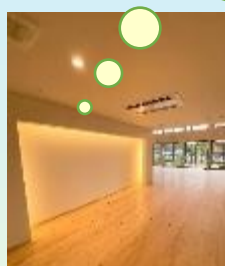
洗面コーナー



通所部門
in はまなす

入所部門
ひのきの杜

地域交流スペース
につながる玄関には
地元染画家「加藤
千代さん」の作品が
飾られます



利用者・保護者・職員の念願だった、主に身体障害者対象の“全室個室”の障害者支援施設「ひのきの杜」と通所事業所「はまなす」が入る“ひのきの杜新館”がいよいよ8月上旬に完成します。コロナ禍も踏まえた内覧会（8月下旬予定）が決定しましたら、ホームページ等でお知らせいたしますので、お気軽にお越しください。

ひのきの杜共生・ひのきの杜・けやきの家がある「栃木市岩舟町曲ケ島エリア」では、親なき後の安心に向けて、再編整備を進めています。第1弾が、今回のひのきの杜及びけやきの家（身障部門）の新築移転・はまなす新設です【身障部門強化】。次に、けやきの家（知的部門）にすぎのこ（農福部門）が合流し、現けやきの家2棟を全面的に使用する計画です【知的通所部門強化】。最後に、本館（現在は1階：ひのきの杜、2階：ひのきの杜共生）の大規模改修を行い、曲ケ島エリアの管理部門と全室個室のひのきの杜共生とする【知的入所部門強化】大きなプロジェクトです。

このプロジェクトを通して、栃木市内のあらゆる事業所と連携して、重度の障害を持った方々でも、幼少期から高齢期に至るまで、安全に安心して生きがいを持ってこの街で暮らせるサポート体制を完成させたいと考えています。すぎのこ会が50年前から利用者・保護者の皆さんと目指してきた「一貫した福祉を保障する施設」としての「トータルサポート（地域包括支援）システム」の一環です。

夢の実現に向けて、物故となられた方を含めて、ともに歩んできた多くの仲間・支援者がいました。お一人おひとりの“想い”を思い出し、語り継いでいきます。新ひのきの杜建設のコンセプトは「みんなの想いをつなぐ：親なき後も安心の住みたくなる施設、通いたくなる施設」でした。

想いのこもった施設は間もなく完成です。

ひのきの杜総合施設長 岩崎 好宏



新ひのきの杜
ともに つなぐ あすへ



『 本会が進めてきた事業の継続 』



《 理事長 岩崎 俊雄 》

本年は、評議員・役員等の改選期に当たり、例年の事業報告、決算承認等のための理事会のほか評議員選任のための評議員選任・解任委員会、役員選任等のための評議員会そして理事長・常務理事選任等のための理事会等、コロナ禍にある中で矢継ぎ早に会議を開催しました。

役員等の人事については、理事長、常務理事の執行体制は現行どおりとする議案が承認される一方高久祐一理事が内規により辞任し、後進の諸岡泰氏に道を譲ることになりました。高久理事には平成3年から長期間にわたってご協力いただき、本会発展のために寄与されました。改めて、心よりお礼を申し上げるとともに、今後は相談役として、高所からのご指導をお願いする次第です。

相前後して、某会社のオーナーから寄付の申し出のお電話を頂いたので、妻である統括会計責任者と会社を訪問しました。世間話の後、オーナーは封筒を差し出し、「わずかだけれど何かの足しに使ってほしい。名前は出さないでくれ」と言われました。必要書類の寄附申込書に記載された金額を見て驚きました。利害関係のない第三者からの寄付金としては、これまでに例のない最高の金額が記載されていました。封筒に入っていたのは小切手だったのです。続けて「理事長に寄付するのであれば惜しくはない。本当に困った時は言ってくれ」の言葉に絶句、そして涙です。

そんな中にあって、月間福祉の特集記事で、今年が『国際障害者年』から40年であることに気づかされました。昭和56年は第二の入所施設である「あすなろ園」の建設を実現すべく、関係方面へ働き掛けていた年でした。計画実現のためには、物理的なバリアは勿論のことながら、心のバリアの解消が課題であると考え、『福祉の心を育てよう』をテーマに、学校教育・社会教育等の現場に出向き講演活動を展開しました。このような活動が認められたこともあり、計画が実現できることになりました。人口2万人足らずの岩舟町で、2カ所目の知的障害者入所施設整備が認められたのが、40年前でした。

これまで多くの皆様がすぎのこ会を支え、応援してくれました。すぎのこ会が歩んできた道は間違っていない、そう信じています。今後、更なるトータルサポートシステム構築のため、これまで進めてきた事業を継続することが、再任された私に与えられた使命であり、実現に向けて万全を期す所存でありますので、皆様のこれまで同様のご指導、ご支援を賜りますよう、心よりお願いいたします。



すぎのこだより No.79号





♪ 各事業所の活動や行事の様子 ♪

もくせいの里

もくせいの里放課後等デイの活動のひとつ、地域清掃です。長年先輩から受け継がれ、ぶどう団地周辺の地域の清掃を行っています。友達や先輩後輩、職員との会話を楽しみながら皆進んで清掃を行ってくれているため、いつも綺麗な道を散歩することができます。また、梅雨の時期には壁画制作を行い部屋に彩りを加えています。 総括主任：梅澤要一



包括すぎのこ

栃木市より委託を受けて、4月から「子どもの居場所事業」が始まりました。

養育支援が必要な児童生徒に、安心して過ごせる環境の中で、他者との関わりや適切な遊び、食事や入浴の機会、学習支援などを提供しています。食材等の寄付や学習支援ボランティアなど、事業運営へのご協力をよろしくお願いします。



ひのきの杜

合同運動会の代替イベントとして「ミニ運動会」を開催しました。競技は「玉入れ」「借り物競争」「パン食い競争」の3種目。紅白対抗で、白熱した戦いが繰り広げられました。一番盛り上がったのは…やっぱり「パン食い競争」♪笑顔いっぱいのイベントになりました。 支援主事：中川大



ひのきの杜共生

普段は地域の方々のご協力を得て岩舟地域を中心にアルミ缶の回収を行い、缶潰し作業。また天気の良い日には新ひのきの杜の建設を横目に散歩に出掛けています。



みずほの家

みずほの家は作業内容を見直し、現在「リネン作業」を拡大中です！作業の丁寧さと正確さが私たちの強み！利用者の皆さんと職員、毎日笑顔で元気に頑張っています。これからもたくさん皆さんの仕事をこなしていきます!(^_^)!

事務主任：新村智与子

